

第1回 防衛施設整備に関する意見交換会

開催日：令和4年12月23日（金）

10：00～12：00

会場：ホテルグランドヒル市ヶ谷

東館2階「白樺」

（議事次第）

1 開 会

防衛省大臣官房 杉山施設監からの挨拶

2 議 事

「自衛隊施設の強靱化に向けて」 (50分)

- ・ 施設の強靱化の概要
- ・ 施設最適化調査の概要
- ・ その他の施設整備

3 意見交換（質疑応答） (60分)

4 閉 会

第1回 防衛施設整備に関する意見交換会

開催日：令和4年12月23日（金）

13：30～15：30

会場：ホテルグランドヒル市ヶ谷

東館2階「白樺」

（議事次第）

1 開 会

防衛省整備計画局 櫻井施設技術管理官からの挨拶

2 議 事

「自衛隊施設の強靱化に向けて」 (50分)

- ・ 施設の強靱化の概要
- ・ 施設最適化調査の概要
- ・ その他の施設整備

3 意見交換（質疑応答） (60分)

4 閉 会

自衛隊施設の強靱化に向けて

令和4年12月23日
防衛省 整備計画局

資料目次

1. 施設の強靱化の概要
 2. 施設最適化調査の概要
 3. その他の施設整備
- 【意見交換ポイント】
- 最適化調査業務を円滑かつ適切に実施するためのアイデア
 - 最適化調査業務の発注方式への意見

1. 施設の強靱化の概要

◎最適化事業について（概念：施設の強靱化）

各種脅威に対する施設の強靱化

約23,000棟の建物の他、飛行場、港湾施設、電気・水道などのユーティリティ

①大規模自然災害
(いつくらかからない危機)

想定される外力による
施設等の被害をシミュレーション

被災による防衛力(災害対処含む)の機能低下
を局限するため重要施設を優先的に整備

②武力攻撃・テロ行為等
(意図ある攻撃)

外力に対し、防衛力全体で対抗
(部隊・装備・情報・施設)

戦い方(シナリオ)にあわせ、
ニーズに応じた施設を順次整備

①②を踏まえつつ防衛力の機能維持を図るため
計画的に施設の整備(再配置・集約化等)を推進

③老朽化(時間的な脅威)対策に万全を期す

施設の強靭化

各種脅威に対する施設の強靭化

整備目標

①災害対処拠点となる駐屯地・基地等の機能維持・強化
(大規模自然災害)

・南海トラフ地震等による津波被害及び河川氾濫等による浸水被害が想定される自衛隊施設について、対策を推進。
・液状化が想定される飛行場の液状化対策を推進。

・主要司令部等の地下化を推進。

・主要施設のHEMP攻撃対策を推進。

・主要施設のライフラインの多重化を推進。

②自衛隊施設の抗たん性の向上
(武力攻撃・テロ行為等)

・多層抗たん性向上策として、分散パッドの整備等を推進。

・火薬庫の整備や、民間燃料タンク借り上げにより、必要保管量を確保。

・CBRNeに対する防護性能の付与として、施設の機能・重要度に応じた構造強化、離隔距離確保等の施設再配置・集約化等を実施。



・基地・駐屯地の最適化を図ることにより、③老朽化が進む施設へ対応。

最適化事業（調査）の主旨

- 最適化事業とは、各基地・駐屯地等の最適化（①強靱化、②安定運用、③コスト縮減、④社会・環境への対応）を行い、自衛隊施設が保有すべき性能（防護性能）を確保し、持続可能な施設管理・運営を目的としている。
 - 各基地・駐屯地等（約300地区）に保有されている約23,000棟の建物やライフラインなどを、施設のあるべき姿を見据え、現状を把握・評価を行い、施設の機能・重要度に応じた構造強化、離隔距離確保のための再配置・集約化、老朽改修の計画及び省エネ対策等を含んだ「マスタープラン」を策定するための調査業務。
 - 最適化調査は、防衛省本省内部部局において執行（業務発注）及び監督を行い、各要求機関（各基地・駐屯地施設担当部署）及び各地方防衛局の協力を得て、各基地・駐屯地等（約300地区）のマスタープランを作成していくこととなる。
- ① 強靱化：耐震対策（S57以前の建物）やテロ対策（H15以前の建物）等に対応する施設整備計画の実施。
② 安定運用：施設の不具合により割られる人員及び運用の制限が解消。
③ コスト縮減：定期的に保全改修することによる施設全体のコスト縮減や集約建替えにおけるスケールメリット。
④ 社会への対応：PPP／PFIの導入を積極的に推進。
環境への対応：温室効果ガス排出削減のための対応（ZEB化、LED導入、太陽光発電設備等）。

◎最適化事業について（防護性能付与の現状）

建設年代	建物 23,254棟	耐震性能	防護性能の付与	工法
旧軍時代 ～S20	589棟	旧耐震基準	無	建替
S21～S57 (築76年～築40年)	9,286棟			
S58～H14 (築20年以上)	9,142棟	新耐震基準	無	建替 or 改修
H15～H19 (次の5年に20年を迎える)	1,786棟			
H20～ (予防保全)	2,451棟			

耐震性能：建築基準法の耐震基準であり、昭和56年（1981）の建築基準法改正により、建物の耐震設計が中規模地震（震度5強）から、大規模地震（震度6強以上）に見直されたもの。

防護性能：「自衛隊施設の基本的性能基準について」（平成15年事務次官通達）により、施設の機能・重要度に応じた、破壊行為（爆弾・特殊武器）に対する防護性能や、特定の区域、範囲の保安性能などを付与し、当該性能の確保を図ることを目的としている。

予防保全：築20年を迎える建物については、外壁塗装、屋上防水等の修繕周期を迎えることから、改修を実施する必要がある。

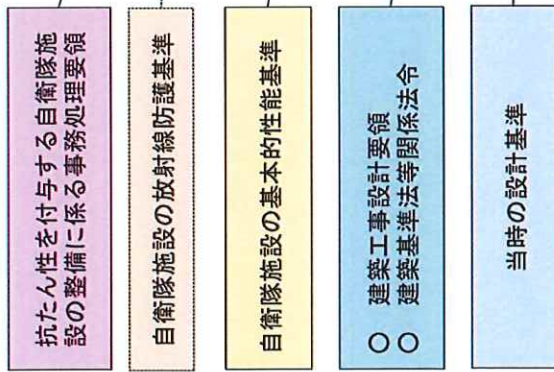
◎最適化事業について（防護性能付与の現状）

必要性と現状

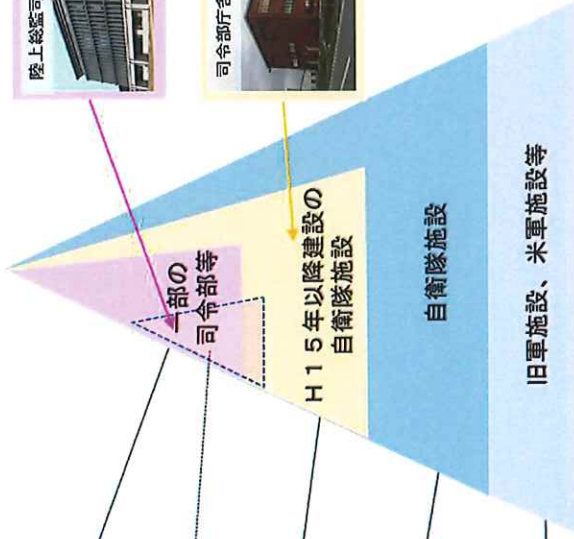
- ◆ 自衛隊施設が保有すべき性能（防護性能）を確保するため、平成15年に基本的性能基準を策定し、以降に新設された建物についてはテロ行為等に対する防護性能を付与しているが、基準策定以前の建物約19,000棟においては、自衛隊施設が保有すべき性能（防護性能）を有していない。
- ◆ これまでは、限られた予算の中で、耐震化や老朽対策について対応する際に防護性能の付与を実施してきたが、ロシアによるウクライナ侵攻に見られるような軍事施設への攻撃や中国の台湾周辺における威圧的な軍事訓練等を踏まえれば、このスピードを加速する必要がある。
- ◆ 加えて、これらの基準策定以前の建物約19,000棟の建築物のうち、約9,900棟が旧耐震基準で建設されるなど、そもそも建物自体の健全性（耐震性能等）が確保されていない。

自衛隊施設の基本的性能基準等のイメージ

適用基準等



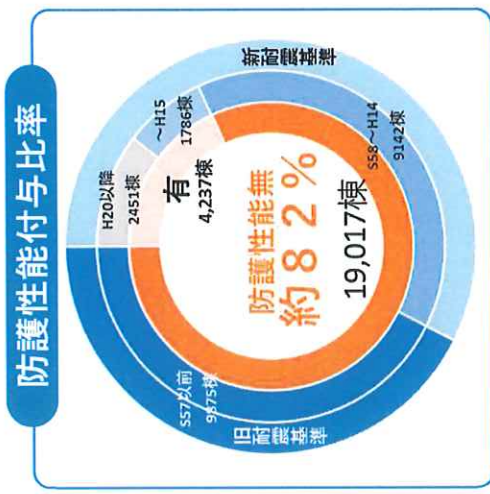
自衛隊施設



各種脅威



防護性能付与比率



建物全体23,254棟

※ EMP対策については検討中

◎最適化事業について（防護性能付与の現状）

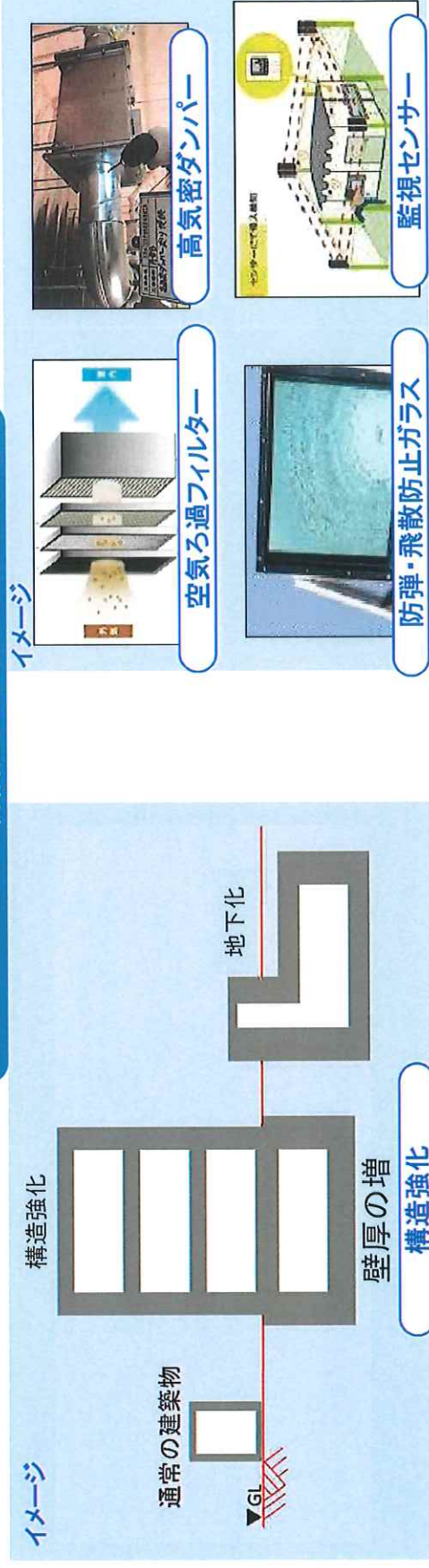
■ 老朽施設は、防衛施設が保有すべき防護性能を有していない。

○施設の機能に応じ、必要な防護性能を付与。

（例）・構造強化（壁厚の増）

- 地下化
- 空気ろ過システム（フィルター）
- 高気密ダンパー
- 飛散防止ガラス
- 監視センサー など

防護性能付与

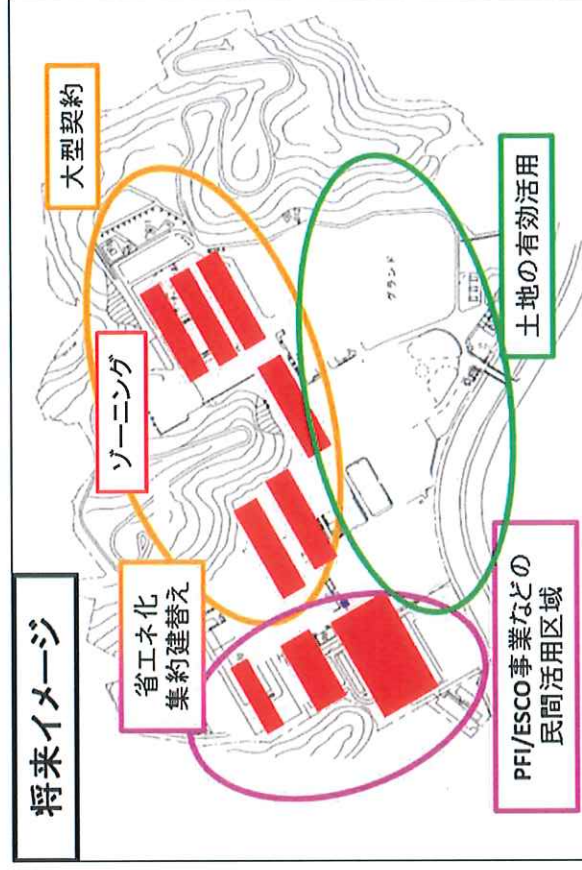
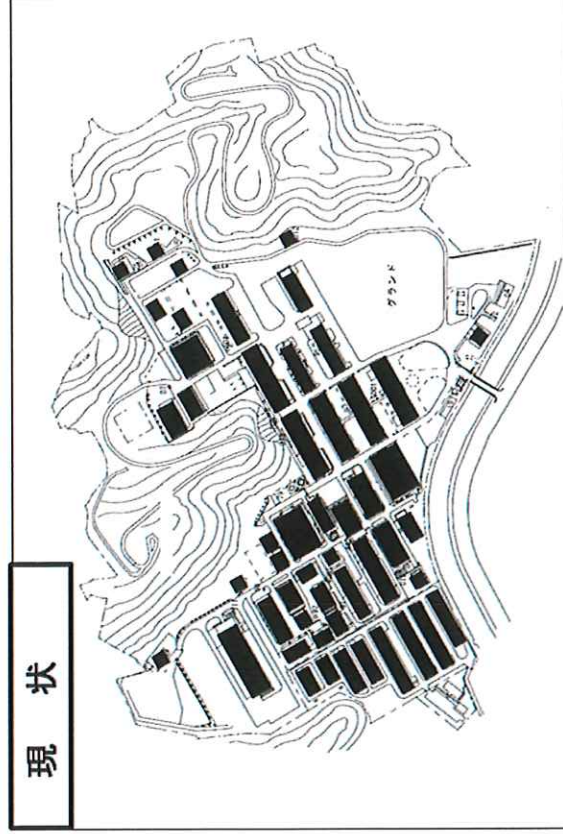


施設の重要度に応じた防護性能付与により駐屯地全体の強靱化を図る

◎最適化事業について（最適化調査の内容）

基地・駐屯地の最適化調査

<イメージ>



◎最適化事業について（最適化調査の内容）

基地等施設のレジリエンス強化

防衛省・自衛隊の施設等の効率化・温室効果ガス排出の削減

- ・建物のZEB化、LED導入
- ①再生可能エネルギー電力の調達
- ②太陽光発電設備等、再生可能エネルギー施設の設置
- ③ボイラー施設等の段階的廃止の検討
- ④電動車（一般車両）の調達
- ⑤建設工事からの温室効果ガス排出の削減等



基地等施設のエネルギー自立化

- 基地等施設への太陽光発電システム等、再生可能エネルギー施設の整備による災害時や有事にもレジリエンスのあるエネルギー自立化に向けた検討及び実証事業の実施

※環境省と連携の硫黄島・南鳥島での実証事業及びモデル施設数か所での実証事業の結果を踏まえ、全国へ展開



資源エネルギー庁HPから引用

PPP/PFIの導入

- PPP/PFIを導入することにより、施設等の設計、建設、維持運営管理に民間資金とノウハウを活用。

○ これまで自衛隊施設のPPP/PFIの導入には検討に要する期間が長期にわたることやセキュリティ確保等が課題であったところ、最適化調査におけるゾーニング等により課題を克服。

◎最適化事業について（最適化調査の内容）

予防保全への転換

●適切な維持管理不足の老朽化により施設の機能低下が進む



↑ 老朽化が進み、倒壊したボイラー煙突。



↑ 老朽化が進んだ倉庫

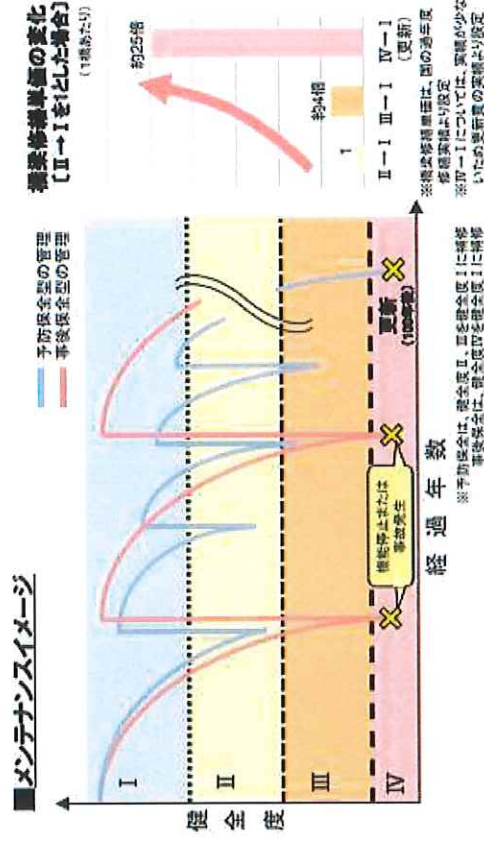
●「事後保全」は、隊員の通常勤務にも大きな影響を与えている。



↑ ボイラー煙突倒壊の応急措置をする隊員



↑ 雨漏りに対応する隊員

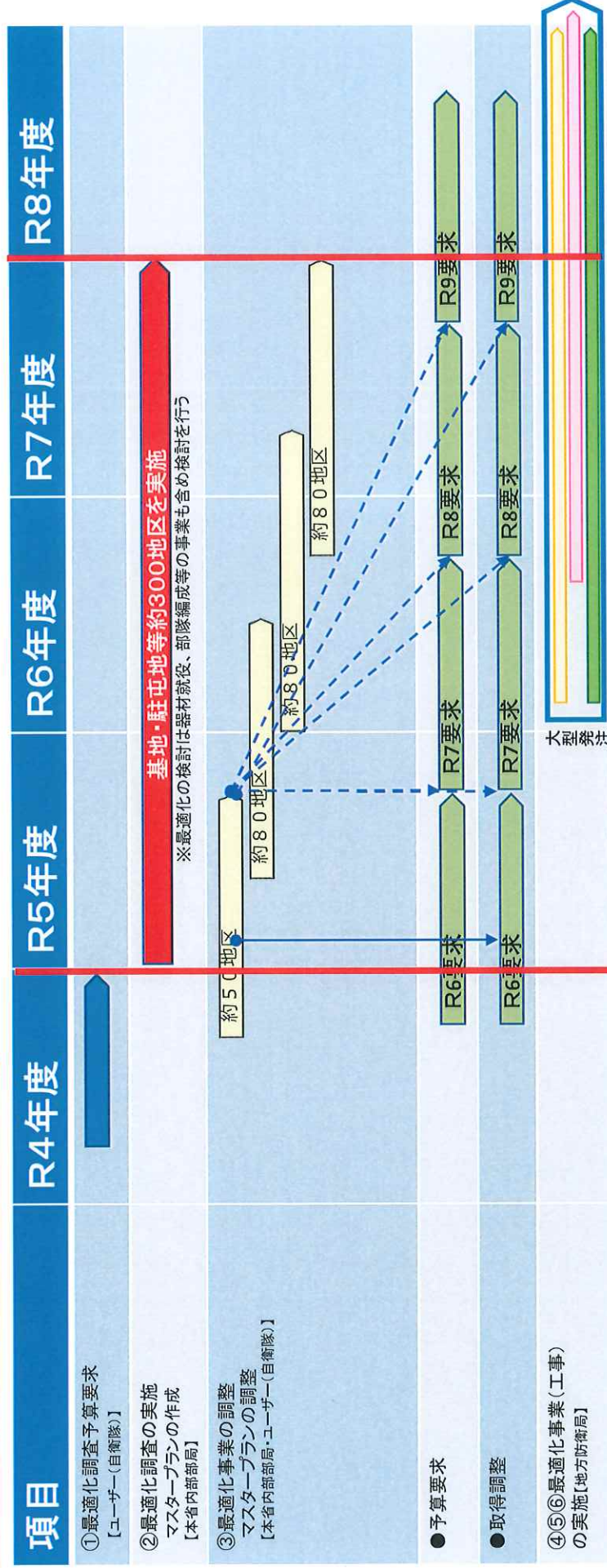


● 予防保全

配管や設備機器等の耐用年数は15年、防水（シーリング）の耐用年数は20年など部分的な機能低下を定期的な更新・改修することにより施設の健全性を維持、全体の長寿命化に繋げる。

◎最適化事業について（最適化調査から工事までの流れイメージ）

最適化事業の進め方

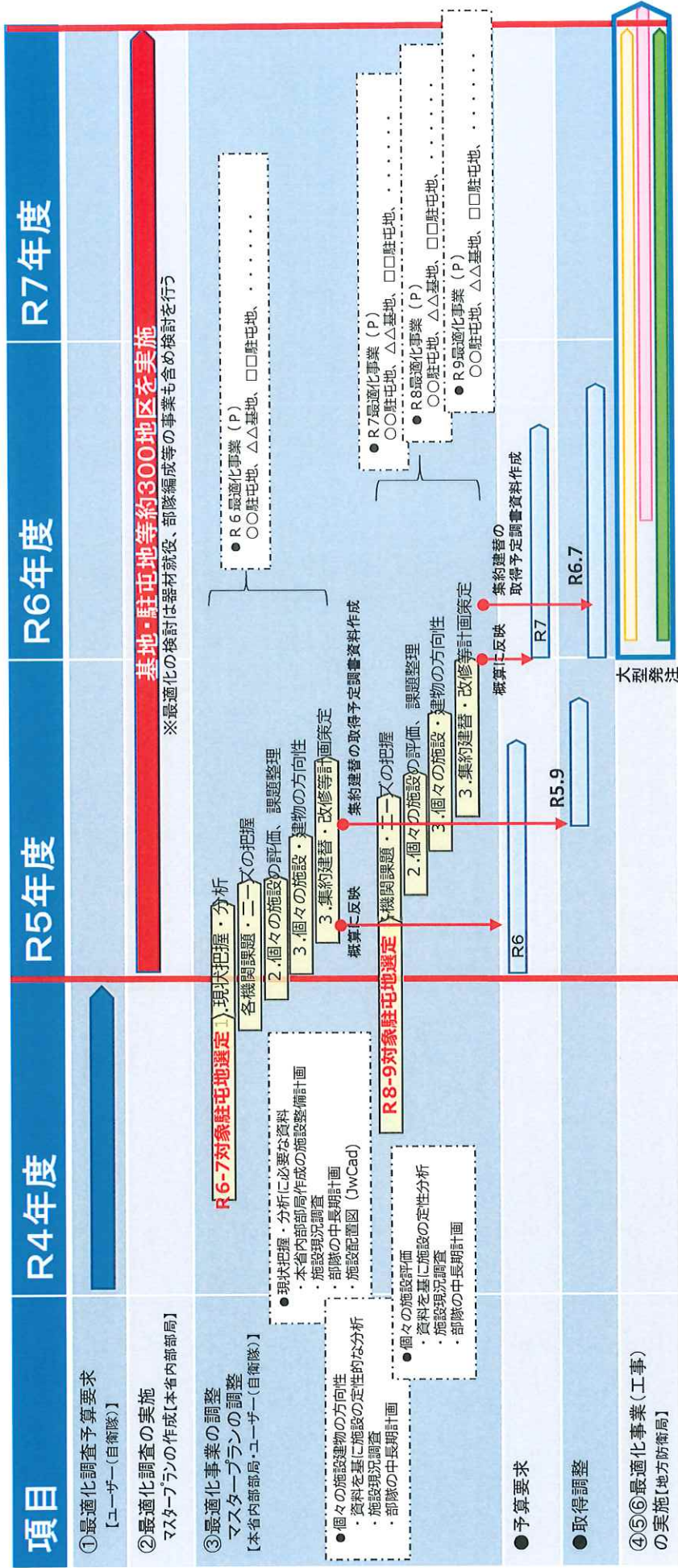


- ①最適化調査予算要求
- ②最適化調査の実施
 - ②-1 本省内部部局において業務を発注、監督。
 - ②-2 最適化調査の内容
 既存の施設状況確認、施設中長期計画の確認、集約建替の工事計画の作成、取得予定調査の作成補助、環境配慮工事計画の作成、PF事業等導入可能性の検討、標準図活用方式における図面作成及び数量書（概算含む）作成。
- ③最適化調査の調整
 - ③-1 ユーザー（自衛隊）との調整が主な調整。
 - ③-2 現場の建設業の状況や執行計画について各地方防衛局調達部との情報共有。

- ④最適化事業（老朽改修工事）の実施
 - ④-1 最適化調査において算出した概算額で要求。
 - ④-2 各地方防衛局調達部にて執行。
- ⑤最適化事業（集約建替工事）の実施
 - ⑤-1 最適化調査において算出した概算額で要求。
 - ⑤-2 各地方防衛局調達部にて執行。
- ⑥最適化事業（保全改修工事）の実施
 - ⑥-1 最適化調査において算出した概算額で要求。
 - ⑥-2 各地方防衛局調達部にて執行。

◎最適化事業について（最適化調査から工事までの流れイメージ）

最適化事業の進め方

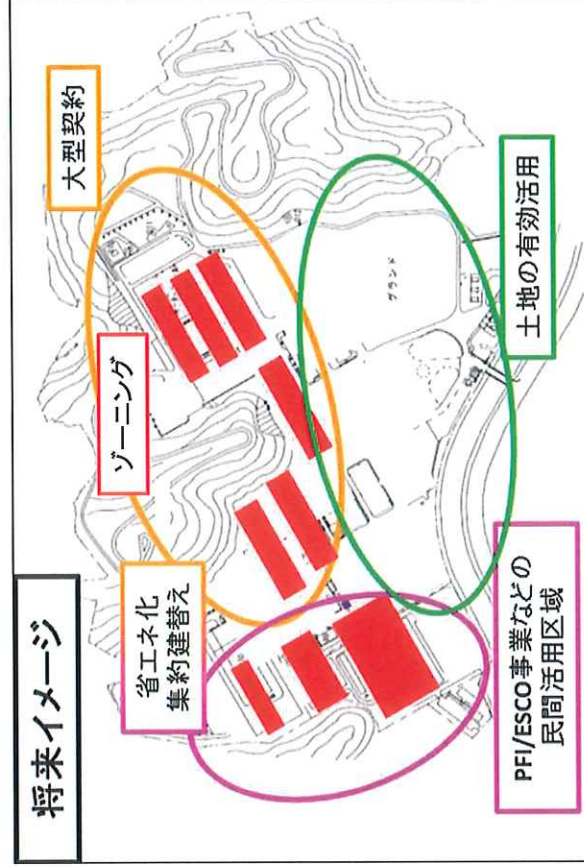
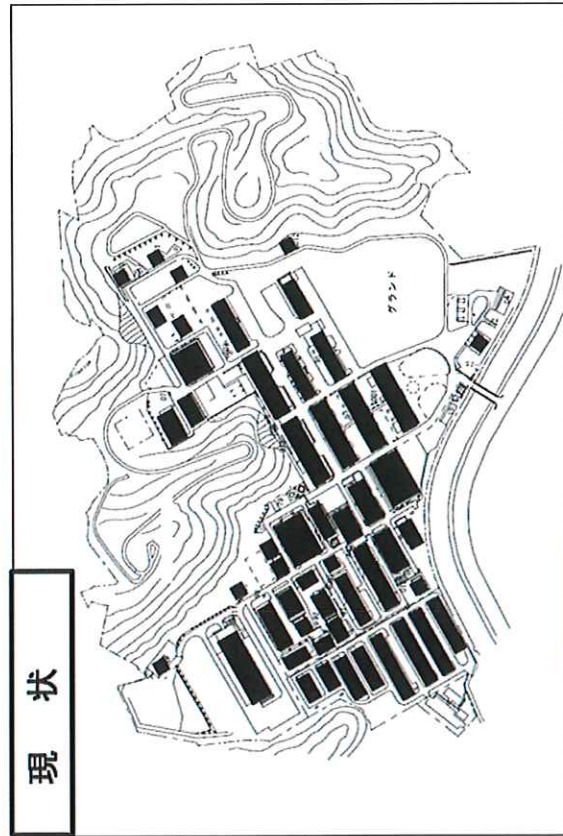


2. 施設最適化調査の概要

○ 施設最適化調査について

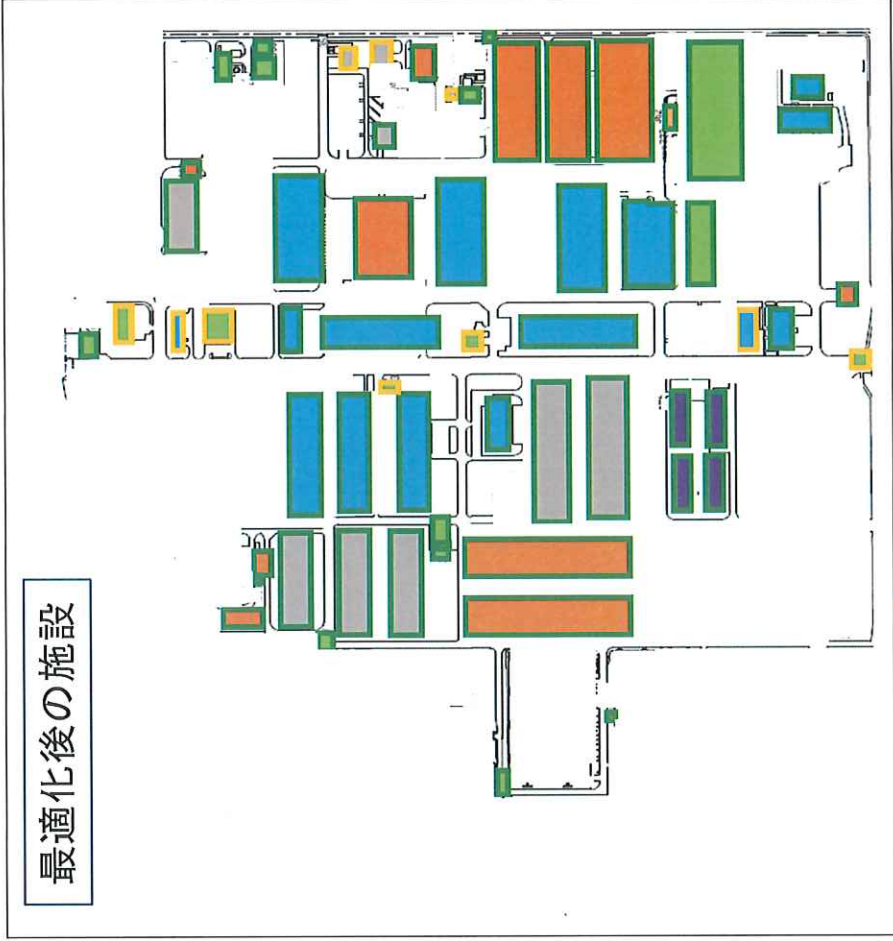
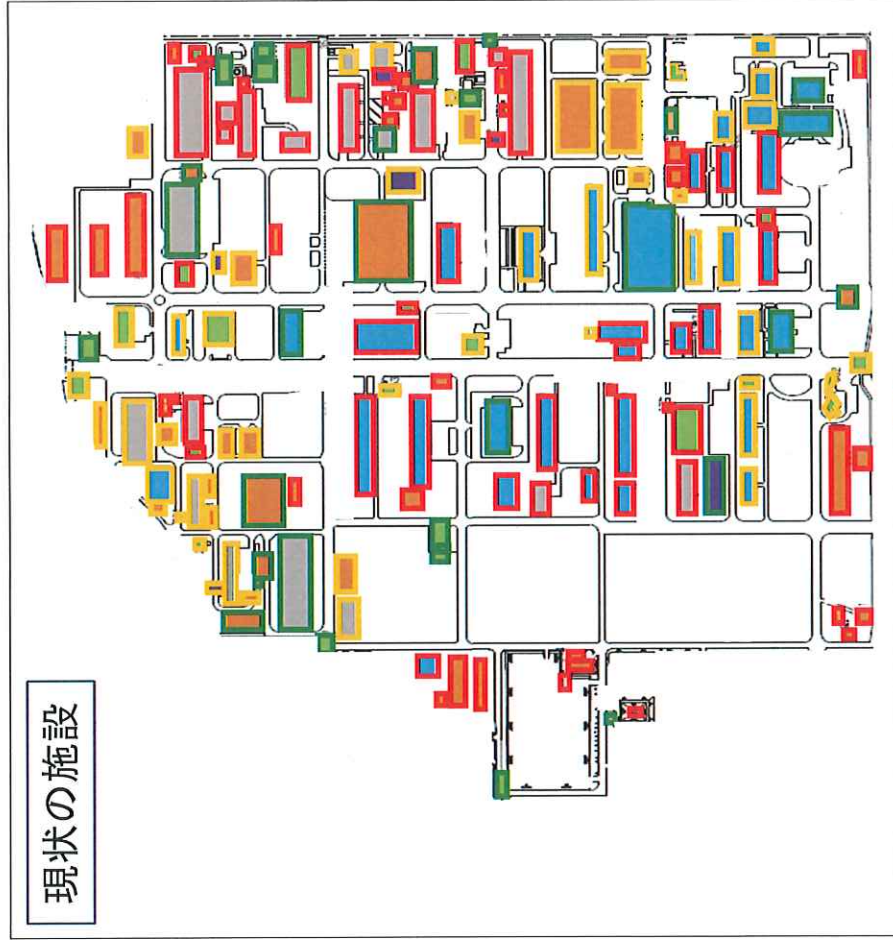
基地・駐屯地の最適化調査

<イメージ>



今整備計画における最適化事業

● 駐屯地 施設整備計画(施設将来計画図)イメージ



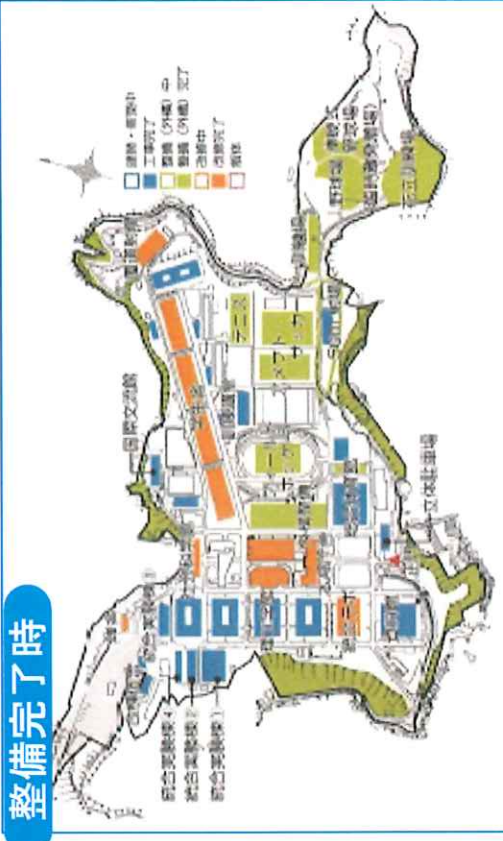
○ 施設最適化調査について

(参考) マスタープラン作成事例

現状



整備完了時



部隊等における
中長期計画

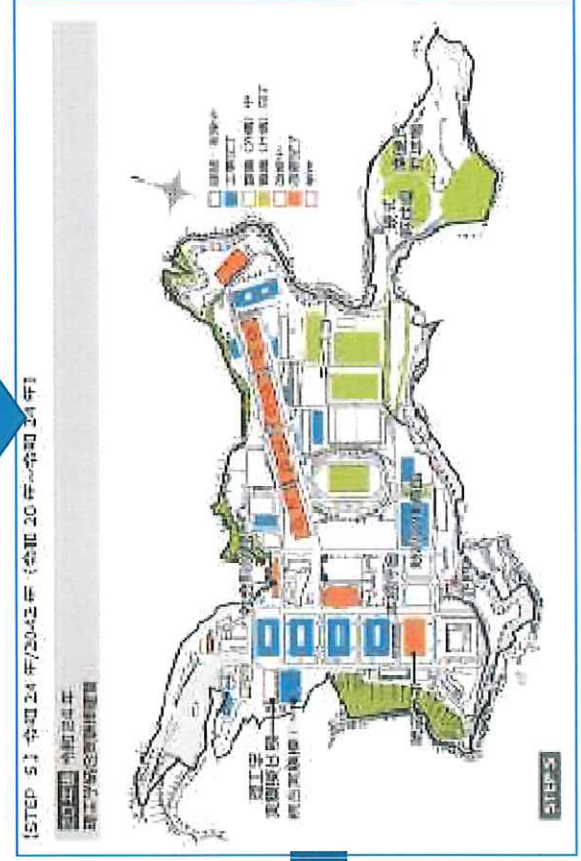
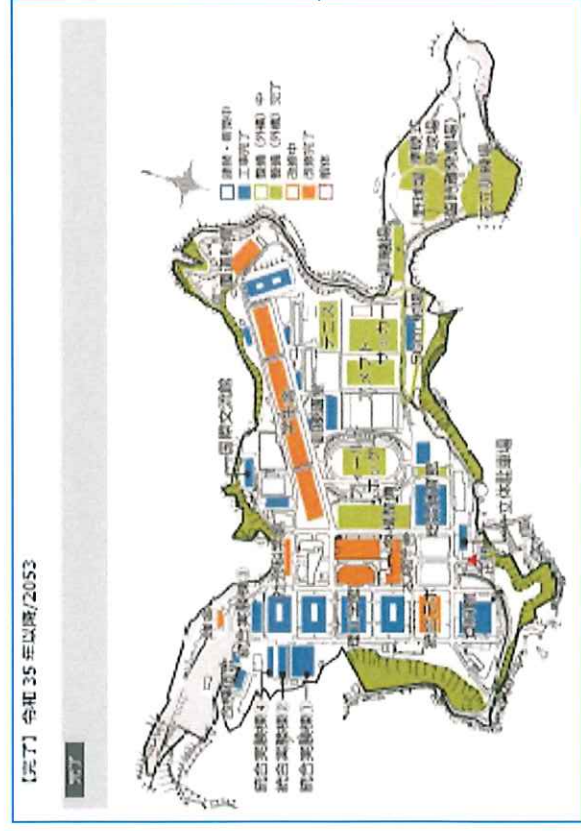
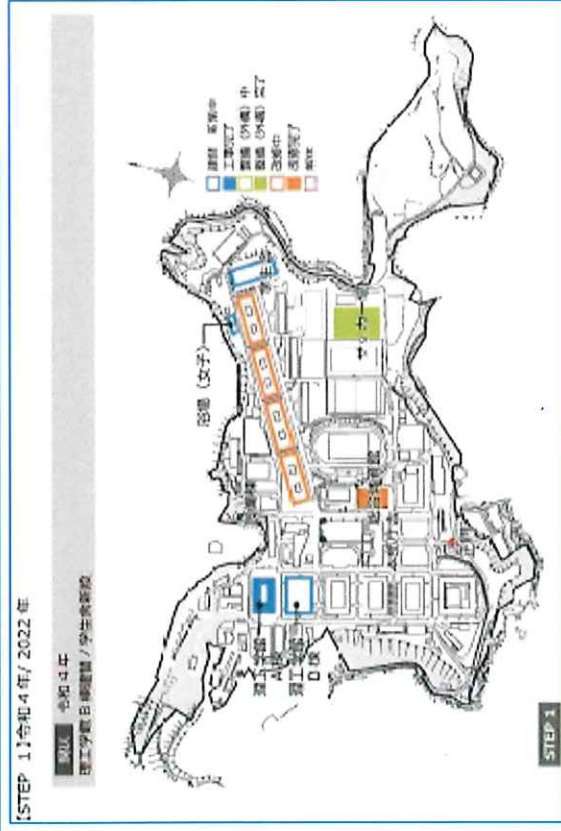
Ⅲ 各種施策 項目名：教育訓練・研究基盤の充実・強化

(単位：百万円)

施設名	事業名等		要求予定年度等												
	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	計		
訓練環境・運動施設の改善	演習射場の改修	調査設計 調査 準備	工事												
	訓練講堂等の整備	取得 予定 調査		基本 検討	調査設計・予 算 準備	工事									
	舟艇管理庁舎の建 替	取得 予定 調査		基本 検討	調査設計 準備	工事									
	花立訓練場・障害 走廊の整備	予算 指額	調査 設計	工事											
	アメフト場の改修 ・R3調査設計済	予算 指額	工事												
野球場の改修		調査設計 調査 準備		工事											
総合体育館、武道 場の改修	予算 指額	調査設計 調査 準備		工事											

○ 施設最適化調査について

(参考) マスタープラン作成事例



施設最適化マスタープラン作成の業務フロー（1/2）

○ 施設整備の基本方針の整理

- ・ 今後、15年後の完成を目的としてマスタープランを作成。（予算措置としては10年）
- ・ 既設個別施設（建物のみならずユーティリティも含む）の①旧耐震基準及び②防護性能の付与等を確認し、建替又は改修を判断し、③自然災害への対応等に関する基本方針を整理・統一。 → **整理した段階で、ユーザー（自衛隊）への意見照会が必要**

○ 個別施設の現況把握

- 発注者から貸与する既存資料を基に下記を把握。（必要な場合のみ現地調査を実施）
 - ・ 個別施設ごとに建設年度及び改修履歴を調査し、①旧耐震基準及び②防護性能の付与等の現況を把握。
 - ・ 対象基地等における③自然災害に対する津波対策、浸水対策の現況を把握。
 - ・ 使用している部隊の必要な④施設規模（面積等）及び設備等を把握。

○ 個別施設の整備方針の検討

- ・ ①個別施設の旧耐震基準及び②防護性能の付与等の現況を上記の「施設整備の基本方針」と照らし、「建替」「改修」「継続」を判断。
 - ・ ③自然災害に対する津波対策、浸水対策の現況から不足する対策を追加。
 - ・ ④施設規模及び設備等を基に個別施設の所要に係る必要な性能を整理。
 - ・ 上記①～④で「建替」が必要と判断された個別施設については、部隊の運用性及び効率性を検討し、個別施設を集約（統合）。
- **上記を検討した段階で、ユーザー（自衛隊）への意見照会が必要**

（次頁に続く）

施設最適化マスタープラン作成の業務フロー（2/2）

○ 施設最適化マスタープランの検討

【個別施設の配置計画】

- ・ 前述の「整備方針」を基に対象基地等において、ゾーニングを行い個別施設（集約施設を含む）を配置。
- ・ 配置に当たっては、関係法令及び基本的性能基準の規制を考慮。
- ・ 上記「ゾーニング」を踏まえ、PPP/PFIの導入可能性について検討する。

【エネルギー効率化の検討】

- ・ 上記「ゾーニング」を踏まえ、再生可能エネルギー導入やエネルギーの効率化等を検討するとともに、コスト対策としてESCO導入等についても検討する。

【事業スケジュールの整理】

- ・ 現地部隊のニーズ（施設の重要度・優先度、運用計画）を整理。
- ・ 既設ユーティリティの許容量及び整備状況を把握し、改修計画を検討。
- ・ 部隊運用への影響を踏まえた仮設建物等の検討・計画。
- ・ 上記を整理した全体工程表の検討・作成。

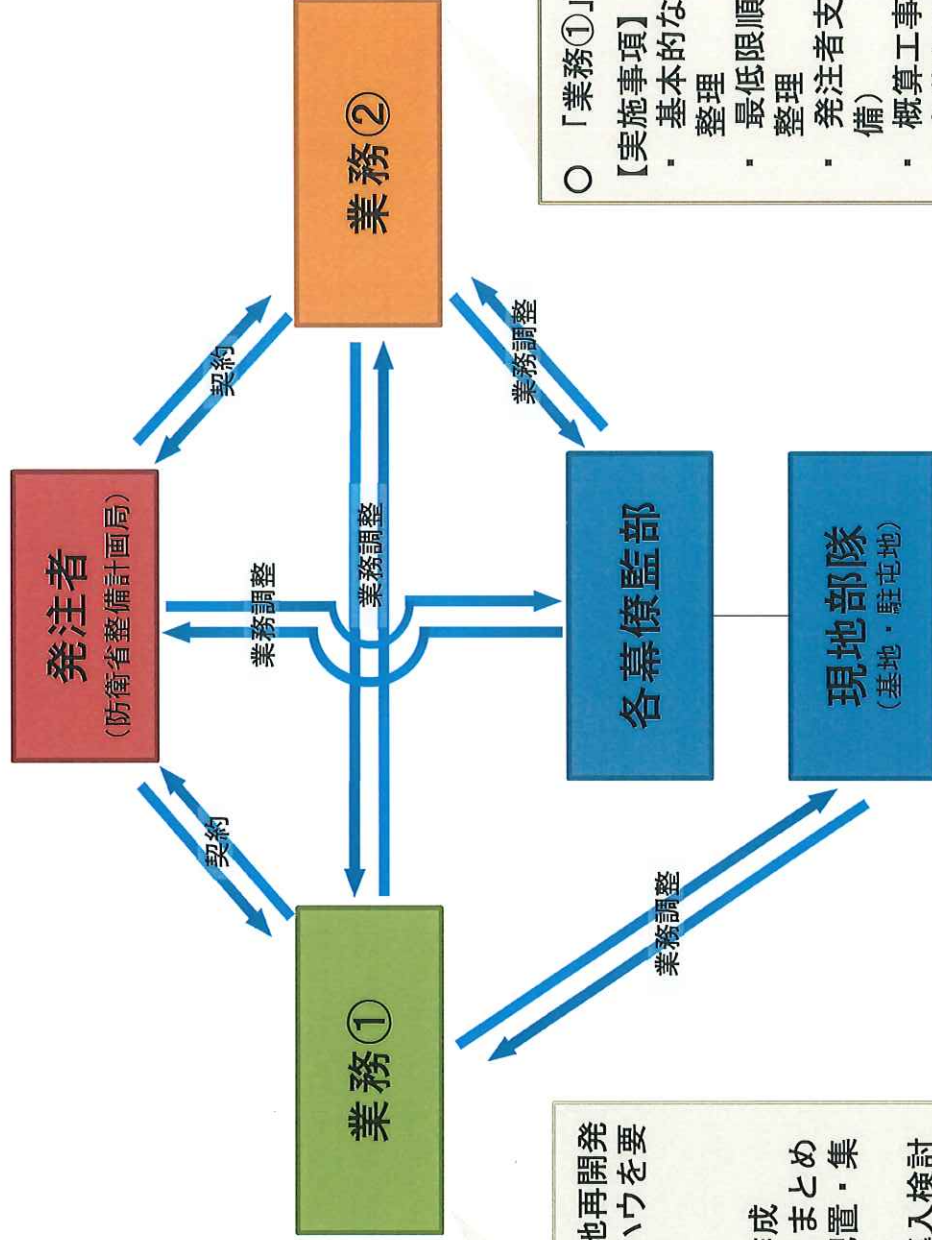
→ 上記を検討した段階で、ユーザー（自衛隊）への意見照会が必要

【概算工事費の算定】

- ・ 「個別施設の配置計画」、「エネルギー効率化の検討」、「事業スケジュールの整理」を踏まえ、概算工事費を算定。

施設最適化マスタープランの完成

マスタープラン作成のスキーム (イメージ)



○ まちづくり、市街地再開発事業等の技術的ノウハウを要する業務

【実施事項】

- ・ マスタープラン作成
- ・ 部隊ニーズのとりまとめ
- ・ ゾーニング(再配置・集约化)検討
- ・ PFI等手法の導入検討

○ 「業務①」をサポートする業務

【実施事項】

- ・ 基本的な整備方針の在り方の整理
- ・ 最低限順守すべき技術基準の整理
- ・ 発注者支援 (今後の発注の準備)
- ・ 概算工事費の算定
- ・ 各幕との調整 (マスタープランに基づく整備内容)
- ・ 予算要求、基本計画の作成
- ・ 発注(整備)計画の作成

施設最適化の対象地区

管轄局	施設最適化対象地区			合計
	陸上自衛隊	海上自衛隊	航空自衛隊	
北海道防衛局	29地区	4地区	7地区	40地区
帯広防衛支局	8地区		2地区	10地区
東北防衛局	14地区	5地区	9地区	28地区
北関東防衛局	28地区	11地区	16地区	55地区
南関東防衛局	9地区	8地区	4地区	21地区
近畿中部防衛局	24地区	5地区	11地区	40地区
中国四国防衛局	12地区	7地区	6地区	25地区
九州防衛局	20地区	12地区	7地区	39地区
熊本防衛支局	10地区	4地区	5地区	19地区
沖縄防衛局	8地区	2地区	6地区	16地区
合計	162地区	58地区	73地区	293地区

※ 1地区あたり平均約80棟の建物が所在

※ 1地区あたり建物延べ床面積は平均約48,000m²

※ 上表の他、施設等機関（防衛大学校、防衛医科大学校等）の対象地区が別途あり

適切な業務執行にあたっての業務分割イメージ

○ 短期間で集中的にマスタープランを作成するためには、ある程度まとまった形で業務を実施する必要がある

	サポート				最適化調査				合計				
	業務②-1	業務②-2	業務②-3	業務②-4	業務①-1	業務①-2	業務①-3	業務①-4		業務①-5	業務①-6	業務①-7	業務①-8
北海道防衛局	陸自 29地区				海自 4地区	空自 7地区							40地区
帯広防衛支局	陸自 8地区					空自 2地区							10地区
東北防衛局		陸自 14地区			海自 5地区	空自 9地区							28地区
北関東防衛局		陸自 28地区			海自 11地区	空自 16地区							55地区
南関東防衛局		陸自 9地区			海自 8地区	空自 4地区							21地区
近畿中部防衛局			陸自 24地区					海自 5地区				空自 11地区	40地区
中国四国防衛局			陸自 12地区					海自 7地区				空自 6地区	25地区
九州防衛局				陸自 20地区				海自 12地区				空自 7地区	39地区
熊本防衛支局				陸自 10地区				海自 4地区				空自 5地区	19地区
沖縄防衛局				陸自 8地区				海自 2地区				空自 6地区	16地区
合計	陸自 37地区	陸自 51地区	陸自 36地区	陸自 38地区	海自 28地区	海自 30地区	海自 30地区	海自 38地区	空自 38地区	空自 35地区	空自 35地区	空自 35地区	293地区

施設最適化の実施内容

実施項目	実施可否	実施可能「地区数」	実行可能「金額」
施設整備の基本方針の整理 (旧耐震基準や基本的性能の付与による建替・改修、自然災害対策等の基本方針)	○ or ×	—	—
個別施設の現況把握 (基本的に既存資料等により確認)	○ or ×	○○地区/年	○○○円/年
個別施設の整備方針の検討 (既存施設の「建替」「改修」「継続」を判断、自然災害対策を追加、個別施設の集約化を検討)	○ or ×	○○地区/年	○○○円/年
個別施設の配置計画 (ゾーニングを行い個別施設を配置、PPP/PPFIの導入可能性を検討)	○ or ×	○○地区/年	○○○円/年
エネルギー効率化の検討 (再生可能エネルギー導入等の検討)	○ or ×	○○地区/年	○○○円/年
事業スケジュールの整理 (部隊ニーズを整理、既設ユーザーリテイアの改修計画を検討、仮設建物等の計画を検討、全体工程表の作成)	○ or ×	○○地区/年	○○○円/年
概算工事費の算定	○ or ×	○○地区/年	○○○円/年
設計業務の実施	○ or ×	○○地区/年	—
工事の実施	○ or ×	○○地区/年	—

※ 添付のアンケート調査票のデータを後日、メールいたしますのでご入力の上、期日までにご返信ください。

換答)
交応
見疑
意質
(質)

意見交換ポイント

施設最適化調査を実施していくためには、民間事業者の皆様方の能力・体制・枠組み等をよく聴取しつつ、人的資源の有効活用を含め、官民が連携した事業スキームを構築する必要があります。そのため民間事業者の皆様と意見交換を実施するものです。

なお、今後の意見交換やアンケート等の実施に当たっては、予め建設工事の発注に関する専門的知見や法曹関係の有識者等に内容等を諮り、コンプライアンスに留意してまいります。

- 施設最適化調査業務を円滑かつ適切に実施するためのアイデア
 - ・ マスタープラン作成にあたっての工夫 等
- 施設最適化調査業務の発注方式への意見
 - ・ 民間事業者が参入しやすい公募条件 等
- その他
 - ・ 行政では気づきにくい課題 等

【お問合せ先】

(1. 施設の強靱化の概要について)

防衛省整備計画局施設計画課施設政策室長 三沢

電話番号03-3268-3111(内線25430) E-mail: misawadai01@ext.mod.go.jp

防衛省整備計画局施設計画課施設政策室 岡垣

電話番号03-3268-3111(内線25445) E-mail: okagakikos@ext.mod.go.jp

(2. 施設最適化調査の概要について)

防衛省整備計画局施設整備官付統括事業監理室長 高橋

電話番号03-3268-3111(内線36450) E-mail: takahashitet3@ext.mod.go.jp

防衛省整備計画局施設計画課契約制度企画室長 御園

電話番号03-3268-3111(内線36440) E-mail: misonotad@ext.mod.go.jp

防衛省整備計画局施設技術管理官付技術企画官 久保田

電話番号03-3268-3111(内線35968) E-mail: kubotaryu2@ext.mod.go.jp

「第1回防衛施設整備に関する意見交換会」におけるアンケート調査票

回答者（企業名）： _____

1. 施設最適化の実施内容について

○ 以下の設問について、貴社の考えをお聞かせください。

- ・ 「実施可否」については、該当する記号を選択してください。
- ・ 「実施可能地区数」については、上記設問(実施可否)において「1.実施可能」を選択した場合、該当する記号を選択してください。
- ・ 「実行可能金額」については、上記設問(実施可否)において「1.実施可能」を選択した場合、該当する記号を選択してください。

No.	調査項目	実施可否	実施可能 「地区数」 (地区/年)	実行可能 「金額」 (円/年)
1	施設整備の基本方針の整理 (旧耐震基準や基本的性能の付与による 建替・改修、自然災害対策等の基本方 針)	ア.実施可能 イ.実施不可 ウ.わからない		
2	個別施設の現況把握 (基本的に既存資料等により確認)	ア.実施可能 イ.実施不可 ウ.わからない	ア.1~5 イ.5~10 ウ.10~15 エ.15以上	ア.0~1000万 イ.1000万~ 5000万 ウ.5000万~1億 エ.1億~5億 オ.5億以上
3	個別施設の整備方針の検討 (既存施設の「建替」「改修」「継続」 を判断、自然災害対策を追加、個別施設 の集約化を検討)	ア.実施可能 イ.実施不可 ウ.わからない	ア.1~5 イ.5~10 ウ.10~15 エ.15以上	ア.0~1000万 イ.1000万~ 5000万 ウ.5000万~1億 エ.1億~5億 オ.5億以上
4	個別施設の配置計画 (ゾーニングを行い個別施設を配置、P P P / P F I の導入可能性を検討)	ア.実施可能 イ.実施不可 ウ.わからない	ア.1~5 イ.5~10 ウ.10~15 エ.15以上	ア.0~1000万 イ.1000万~ 5000万 ウ.5000万~1億 エ.1億~5億 オ.5億以上
5	エネルギー効率化の検討 (再生可能エネルギー導入等の検討)	ア.実施可能 イ.実施不可 ウ.わからない	ア.1~5 イ.5~10 ウ.10~15 エ.15以上	ア.0~1000万 イ.1000万~ 5000万 ウ.5000万~1億 エ.1億~5億 オ.5億以上

No.	調査項目	実施可否		実施可能 「地区数」 (地区/年)		実行可能 「金額」 (円/年)	
				ア.1~5 イ.5~10 ウ.10~15 エ.15以上		ア.0~1000万 イ.1000万~ 5000万 ウ.5000万~1億 エ.1億~5億 オ.5億以上	
6	事業スケジュールの整理 (部隊ニーズを整理、既設ユーティリティの改修計画を検討、仮設建物等の計画を検討、全体工程表の作成)	ア.実施可能 イ.実施不可 ウ.わからない		ア.1~5 イ.5~10 ウ.10~15 エ.15以上		ア.0~1000万 イ.1000万~ 5000万 ウ.5000万~1億 エ.1億~5億 オ.5億以上	
7	概算工事費の算定	ア.実施可能 イ.実施不可 ウ.わからない		ア.1~5 イ.5~10 ウ.10~15 エ.15以上		ア.0~1000万 イ.1000万~ 5000万 ウ.5000万~1億 エ.1億~5億 オ.5億以上	
8	設計業務の実施	ア.実施可能 イ.実施不可 ウ.わからない					
9	工事の実施	ア.実施可能 イ.実施不可 ウ.わからない					

2. 施設最適化調査について

○ 以下の設問について、貴社の考えをお聞かせください。

No.	調査項目	回答
10	自衛隊施設の「施設最適化調査」を円滑かつ適切に実施するためのアイデアがありましたら記述してください。	

No.	調査項目	回答
11	自衛隊施設の「施設最適化」について、 思うことを自由に記述してください。	

3. 今後の「防衛施設整備に関する意見交換会」について

○ 以下の設問について、貴社の考えをお聞かせください。

No.	調査項目	回答
12	今後、同様の「防衛施設整備に関する意見交換会」を開催する場合、参加を希望されますか。	ア：参加したい イ：案内を受けてから検討したい ウ：参加しない

○ 設問は以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。

※ご入力いただいた本調査票のデータは、(公財)防衛基盤整備協会宛て

令和5年1月13日(金)までにご返信頂けますようよろしくお願い申し上げます。

最適化事業対象地区

北海道防衛局 40地区		帯広防衛支局 10地区		東北防衛局 28地区		北関東防衛局 55地区		南関東防衛局 21地区	
陸自 29地区	札幌駐屯地	陸自 8地区	遠軽駐屯地	陸自 14地区	青森駐屯地	陸自 28地区	勝田駐屯地	陸自 9地区	座間分屯地
	名寄駐屯地		美幌駐屯地		弘前駐屯地		土浦駐屯地		横浜駐屯地
	留萌駐屯地		別海駐屯地		八戸駐屯地		霞ヶ浦駐屯地		久里浜駐屯地
	旭川駐屯地		釧路駐屯地		岩手駐屯地		古河駐屯地		武山駐屯地
	滝川駐屯地		鹿追駐屯地		霞日駐屯地		北宇都宮駐屯地		北富士駐屯地
	上富良野駐屯地		標津分屯地		多賀城駐屯地		宇都宮駐屯地		富士駐屯地
	美唄駐屯地		足寄分屯地		大和駐屯地		相馬原駐屯地		滝ヶ原駐屯地
	岩見沢駐屯地		帯広駐屯地		仙台駐屯地		新町駐屯地		駒門駐屯地
	丘珠駐屯地	空自 2地区	船岡駐屯地		大宮駐屯地		板妻駐屯地		
	真駒内駐屯地		根室分屯基地		朝霞駐屯地		海自 8地区		船越地区
	北千歳駐屯地		秋田駐屯地		松戸駐屯地				新井地区
	東千歳駐屯地		神町駐屯地		習志野駐屯地				厚木航空基地
	北恵庭駐屯地		福島駐屯地		下志津駐屯地				横須賀地方総監部
	南恵庭駐屯地		郡山駐屯地		木更津駐屯地				比与宇地区
	島松駐屯地		反町分屯地	練馬駐屯地	長浦地区				
	安平駐屯地		海自 5地区	八戸航空基地	十条駐屯地	田浦地区			
	白老駐屯地			大湊地方総監部	市ヶ谷駐屯地	武山教育隊			
	幌別駐屯地			大湊航空基地	用賀駐屯地	空自 4地区	武山分屯基地		
	俱知安駐屯地			下北海洋観測所	三宿駐屯地		御前崎分屯基地		
	静内駐屯地			竜飛警備所	目黒駐屯地	静浜基地			
	函館駐屯地			空自 9地区	三沢基地	小平駐屯地	浜松基地		
	礼文分屯地				大湊分屯基地	東立川駐屯地			
	沼田分屯地				車力分屯基地	立川駐屯地			
	近文台分屯地				東北町分屯基地	新発田駐屯地			
	多田分屯地				山田分屯基地	高田駐屯地			
	苗穂分屯地		加茂分屯基地		松本駐屯地				
	稚内分屯地		秋田分屯基地	朝日分屯地					
	日高分屯地		松島基地	吉井分屯地					
	早来分屯地		大滝根山分屯基地	海自 11地区	館山航空基地				
海自 4地区	函館基地隊		下総航空基地		父島分遣隊				
	松前警備所		硫黄島航空基地		硫黄島航空基地				
	余市防備隊		南鳥島航空基地		南鳥島航空基地				
	稚内分遣隊		木更津航空基地		木更津航空基地				
空自 7地区	千歳基地		市ヶ谷地区		市ヶ谷地区				
	長沼分屯基地		新潟分遣隊		新潟分遣隊				
	稚内分屯基地		目黒基地		目黒基地				
	当別分屯基地		十条基地		十条基地				
	当別分屯基地		用賀地区		用賀地区				
	奥尻島分屯基地		空自 16地区		百里基地	百里基地			
襟裳分屯基地	熊谷基地	熊谷基地							
八雲分屯基地	木更津基地	木更津基地							
	市ヶ谷基地	市ヶ谷基地							
	目黒基地	目黒基地							
	府中基地	府中基地							
	入間基地	入間基地							
	霞ヶ浦分屯基地	霞ヶ浦分屯基地							
	習志野分屯基地	習志野分屯基地							
	峯岡山分屯基地	峯岡山分屯基地							
	硫黄島分屯基地	硫黄島分屯基地							
	佐渡分屯基地	佐渡分屯基地							
	新潟分屯基地	新潟分屯基地							
	横田基地	横田基地							
	十条基地	十条基地							
	立川基地	立川基地							

最適化事業対象地区

近畿中部防衛局 40地区		中国四国防衛局 25地区		九州防衛局 39地区		熊本防衛支局 19地区		沖縄防衛局 16地区	
陸自 24地区	富山駐屯地	陸自 12地区	米子駐屯地	陸自 20地区	福岡駐屯地	陸自 10地区	熊本駐屯地	陸自 8地区	那覇駐屯地
	金沢駐屯地		出雲駐屯地		春日駐屯地		健軍駐屯地		与那国駐屯地
	鯖江駐屯地		日本原駐屯地		小倉駐屯地		北熊本駐屯地		宮古島駐屯地
	春日井駐屯地		三軒屋駐屯地		飯塚駐屯地		えびの駐屯地		白川分屯地
	守山駐屯地		海田市駐屯地		小郡駐屯地		都城駐屯地		勝連分屯地
	豊川駐屯地		山口駐屯地		久留米駐屯地		川内駐屯地		知念分屯地
	久居駐屯地		徳島駐屯地		前川原駐屯地		国分駐屯地		八重瀬分屯地
	明野駐屯地		善通寺駐屯地		目達原駐屯地		奄美駐屯地		南与座分屯地
	今津駐屯地		松山駐屯地		対馬駐屯地		瀬戸内分屯地	海自 2地区	沖縄基地隊
	大津駐屯地		高知駐屯地		相浦駐屯地		高遊原分屯地	那覇航空基地	
	福知山駐屯地		防府分屯地		大村駐屯地	海自 4地区	鹿屋航空基地	空自 6地区	那覇基地
	桂駐屯地		北徳島分屯地		竹松駐屯地	えびの送信所	奄美分遣隊	恩納分屯基地	
	宇治駐屯地	海自 7地区	崎辺分屯地	奄美分遣隊	鹿児島音響測定所	久米島分屯基地			
	大久保駐屯地	呉地方総監部	別府駐屯地	鹿児島音響測定所	高畑山分屯基地	知念分屯基地			
	八尾駐屯地	小松島航空基地	南別府駐屯地	高畑山分屯基地	下甕島分屯基地	与座岳分屯基地			
	信太山駐屯地	第1術科学校	湯布院駐屯地	新田原基地	奄美大島分屯基地	宮古島分屯基地			
	川西駐屯地	徳島航空基地	玖珠駐屯地	奄美大島分屯基地	沖永良部島分屯基地				
	伊丹駐屯地	岩国基地	富野分屯地	沖永良部島分屯基地					
	千僧駐屯地	小月航空基地	鳥栖分屯地						
	青野原駐屯地	下関基地隊	大分分屯地						
	姫路駐屯地	空自 6地区	海自 12地区	大村航空基地					
	和歌山駐屯地	防府北基地	佐世保地方総監部	佐世保地方総監部					
	岐阜分屯地	防府南基地	干尽地区	干尽地区					
	祝園分屯地	高尾山分屯基地	佐伯分遣隊	佐伯分遣隊					
海自 5地区	見島分屯基地	佐世保造船修補給所	佐世保造船修補給所						
舞鶴地方総監部	土佐清水分屯基地	宍岐警備所	宍岐警備所						
由良基地分遣隊		対馬防備隊	対馬防備隊						
仮屋磁気測定所		佐世保教育隊	佐世保教育隊						
阪神基地隊		佐世保業務隊	佐世保業務隊						
舞鶴航空基地		金山弾薬庫	金山弾薬庫						
空自 11地区		針尾送信所	針尾送信所						
輪島分屯基地		庵崎貯油所	庵崎貯油所						
笠取山分屯基地		空自 7地区	築城基地						
経ヶ岬分屯基地		芦屋基地	芦屋基地						
串本分屯基地		春日基地	春日基地						
小牧基地		高良台分屯基地	高良台分屯基地						
岐阜基地		背振山分屯基地	背振山分屯基地						
高蔵寺分屯基地		海栗島分屯基地	海栗島分屯基地						
白山分屯基地		福江島分屯基地	福江島分屯基地						
饗庭野分屯基地									
小松基地									
奈良基地									